

1 下記の設問に答えなさい。

1. ストレッチャーによる移送について、正しいのはどれか。

- ① ベッドから移動する場合、ストレッチャーの高さはベッドよりも少し高くしておくといよい。
- ② 上り坂をあがる時は、足の方から進む。
- ③ 平らなところでは、足側につく看護師が患者の観察を行う。
- ④ 患者に不安を与えないよう、ゆっくりと動かし振動を与えないようにする。

2. 睡眠への援助について、誤っているのはどれか。

- ① 入眠を促す方法として、菴法・マッサージ・足浴などがある。
- ② 睡眠薬を服用した患者が不眠を訴えてきた場合、すぐに睡眠薬を渡す。
- ③ 生活リズムを調節することは、安楽性を高めることに繋がる。
- ④ 空腹感で寝付けない場合、温かいミルクや軽食を勧める。

3. 院内感染について誤っているのはどれか。

- ① 病院内において入院患者が、原疾患以外の感染症に罹患することをいう。
- ② 感染経路は、おもに接触感染・飛沫感染・空気感染である。
- ③ 感染経路として、一番多いのは飛沫感染である。
- ④ 近年では、MRSA や結核菌などの感染が問題となっている。

4. 注射部位について誤っているのはどれか。

- ① 皮内注射は、上腕後面（伸側）を選択する。
- ② 皮下注射は、前腕内側を選択する。
- ③ 筋肉内注射は、中殿筋や三角筋を選択する。
- ④ 静脈内注射は、肘正中皮静脈・前腕正中皮静脈を選択する。

5. 経管栄養法について適切でないのはどれか。

- ① 指示された流動物の種類・量・時間を確認する。
- ② 胃や腸管を刺激しないように、100～150mL/時間程度でゆっくり注入する。
- ③ 注入が終了したら 100mL の白湯を注入し、チューブ内の流動物を洗浄する。
- ④ イリゲーターおよび栄養セットは、終了後直ちに次亜塩素酸溶液につけて消毒する。

6. 月経前にあらわれる症状について、誤っているのはどれか。

- ① 自律神経症状として、不安感や睡眠障害が出現する。
- ② 水分貯留症状として、疲労感やむくみが発生する。
- ③ 食欲関連症状として、食欲低下や体重減少が出現する。

④ 皮膚・粘膜症状として、色素沈着やにきびが出現する。

7. 脳血管撮影検査を受ける患者の看護について、正しいのはどれか。

- ① 検査前日は禁飲食とする。
- ② 穿刺部位をアルコール消毒する。
- ③ 検査後は、水分を多めに摂取するよう促す。
- ④ 検査当日に止血が確認できたら、圧迫は解除する。

8. 循環器疾患患者の看護について、誤っているのはどれか。

- ① ジキタリス服用時には、消化器症状、頭痛、徐脈などの症状を観察する。
- ② 狭心症患者の観察のポイントとして、胸痛の部位・程度・持続時間などが挙げられる。
- ③ 大動脈瘤患者は、急性期・慢性期に関わらず、脈拍のコントロールが最も大切である。
- ④ 心タンポナーデ予防のためのドレーンが挿入された場合、観察や管理が重要となる。

9. 消化器の構造と機能について、正しいのはどれか。

- ① 胃では、主にたんぱく質の消化が行われ、胃壁の運動と胃液の消化作用によって、食物が粥状に変化する。
- ② 小腸は胃に続く臓器であり、盲腸・結腸・直腸に区分される。
- ③ 大腸の全長は約 15m で、十二指腸・空腸・回腸に区分される。
- ④ 膵臓には、消化酵素を分泌する内分泌腺と血糖調節を行う外分泌腺がある。

10. 次の文章で誤っているのはどれか。

- ① 高齢者は体温調節機能が低下し、成人に比べて脱水症になりやすい。
- ② 加齢とともに増加する良性上皮性腫瘍である老人性疣贅は、ほとんどの高齢者に見られる。
- ③ 脳の重量や容積は高齢になると減少し、長期記憶が早く喪失しやすい。
- ④ 高齢者は血管壁の弾力性が低下し、収縮期血圧が上昇しやすい。

11. 認知症高齢者について正しいのはどれか。

- ① 認知症の症状の一つである見当識障害は、周辺症状に含まれる。
- ② 感情、自尊心、対人機能、社会的配慮は失われていることが多く、間違っただ内容を話す。
- ③ 徘徊が見られる場合、無理に引き止めずに一緒に歩いてみるのが良い。
- ④ 物忘れの進行により、患者は不安や孤独を感じなくなる。

12. 小児の成長・発達について、正しいのはどれか。

- ① 乳歯は4～5か月頃から生えはじめ、上下左右あわせて20本になる。
- ② 発育促進期は、男子より女子の方が2年くらい早く現れる。
- ③ 小泉門の閉鎖の遅れは、水頭症や甲状腺機能低下症などにみられる。
- ④ リンパ系（リンパ節・胸腺・扁桃など）は、思春期にかけて盛んな発育を示すが、その後は急速

に萎縮する。

13. 小児の栄養について、正しいのはどれか。

- ① 体重 1 kgあたりの栄養素の需要は、成人に比べて小さい。
- ② 離乳の開始は、果汁などの水分を与えることで、その時期は5～6か月が適当である。
- ③ 離乳の完了は、形のある食物をかみつぶすることができるようになった状態で、生後 12～18 か月頃である。
- ④ 離乳食のあとは、母乳や育児用調製粉乳はできるだけ与えない。

14. 妊娠の早期診断法として、誤っているのはどれか。

- ① 基礎体温
- ② 経膈超音波断層法
- ③ レオポルド触診法
- ④ 尿中 hCG テスト

15. 精神科外来での看護師のかかわり方について、正しいのはどれか。

- ① 表情などの非言語的なメッセージをしっかり観察する。
- ② 聞き取りやすいように大きな声で話す。
- ③ 患者が不安定な時は一人にして、しばらく距離をおく。
- ④ できるだけ視線は合わせず、必要な情報収集のみとする。

2 下記の設問に答えなさい。

1. 下記の文章の（ ）内に、適切な語句を漢字で書きなさい。

准看護師の業務は、「傷病者もしくは褥婦に対する（ ① ）または（ ② ）」であるが、それは「医師・歯科医師または看護師の（ ③ ）を受けて行う」ことが必要とされている。

2. 呼吸器の主な症状について（ ）に正しい語句を漢字で記入しなさい。

痰を伴う咳を（ ① ）咳嗽という。

痰を伴わない咳を（ ② ）咳嗽という。

3. 静脈内注射 1800mL/日を行う。20 滴/mL の点滴セットを使用した場合、1 分間の滴下数を答えなさい。

4. 2歳女児の身長は 100 cmで、体重は 18 kgである。カウプ指数と栄養状態の評価を答えなさい。

カウプ指数

栄養状態

問一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「だろ。どんな医者か、いい医者か、は、人によって考えもさまざま  
一名医は必ずしも仁医ではないが、仁医は常に名医である」  
と同じように、妻子を養い、生活があり、上司を持つ人間で  
あり、我々と同じようであれ、要求するのには無理である。  
そのうちに、つねに、人格者である上、我々が医者以外に頼り、すが  
ず、この願うこと、は、患者と、いうのも、私が医者に会った。そして  
長い病院生活の間、私は色々な医師に会った。そして  
そのうち、おのずと、仁医、名医師に会った。先生と  
あ、ある先生の名前は、下、答、え、た、私、は、た、ず、ね、た、こ、と、が  
ある。正確な病状をどのくらいか、先生は、言、え、ま、せ、ん、が、患、者、の、訴、え、を、き、き、な、が、ら  
正、確、な、病、状、を、ど、く、ち、は、言、え、ま、せ、ん、が、患、者、の、訴、え、を、き、き、な、が、ら  
の、病、状、を、正、確、に、医、者、に、言、う、の、患、者、は、非、常、に、少、な、い、。吐、き、気、も、非、常  
に、こ、こ、も、痛、い、。そ、う、い、え、ば、こ、こ、ち、も、痛、い、。吐、き、気、も、非、常  
し、ま、す、。そ、う、い、う、に、痛、く、も、な、く、感、を、除、去、し、て、く、れ、る、よ、う、な、心、理、に、な  
つ、て、患、者、は、そ、う、い、う、に、言、う、の、逆、に、痛、く、な、い、で、す、ね、。吐、き、気、な、ん  
か、た、い、し、て、痛、み、も、あ、り、ま、せ、ん、。痛、く、な、い、で、す、ね、。吐、き、気、な、ん  
か、た、い、し、て、痛、み、も、あ、り、ま、せ、ん、。痛、く、な、い、で、す、ね、。吐、き、気、な、ん  
い、る、。自、分、で、自、分、を、安、心、さ、せ、た、い、た、め、病、状、を、軽、く、告、げ、る、患、者、も  
そ、の、訴、え、か、ら、オ、ー、バ、ー、か、控、え、目、に、言、う、患、者、心、理、を、心、得、て、  
医、だ、と、私、は、思、う、。正、確、な、病、状、を、キ、ャ、ツ、チ、で、き、る、先、生、は、や、は、り、名、  
患者は治りた、い、心、で、痛、い、皮、下、注、射、も、手、術、も、検、査、も、我、慢、す、  
に、ア、サ、し、て、痛、い、と、い、う、と、  
「痛、い、く、ら、い、我、慢、し、た、ま、え、」





3 1 経 験  
感 情

4 2 技 術  
理 屈

「<sup>②</sup> こういう医師は患者から信頼を勝ち得ているよう  
だ。」とあるが、医者が「患者から信頼を勝ち得る」の  
はなぜか。次の文章の<sup>あ</sup>と<sup>い</sup>の中に最も適切な語句を  
入れて、文章を完成させなさい。  
自分が辛い病気を患ったような医者は、患者に<sup>あ</sup>  
を抱かせ、その医者言うことに従えば、本当に治る  
という<sup>い</sup>を<sup>お</sup>の<sup>ず</sup>と<sup>起</sup>こ<sup>さ</sup>せ<sup>る</sup>から。

「<sup>③</sup> 医学はどんなに進歩しても限界がある。」とあるが、  
それを認めたいので、医師に何が必要だと考えている  
か。次の文章の<sup>あ</sup>と<sup>い</sup>と<sup>う</sup>の中に最も適切な語句を入  
れて、文章を完成させなさい。  
患者と<sup>あ</sup>に<sup>よ</sup>つ<sup>て</sup>だ<sup>け</sup>の<sup>い</sup>  
く、<sup>う</sup>と<sup>う</sup>と<sup>の</sup><sup>い</sup>を<sup>も</sup>持<sup>つ</sup>こ<sup>と</sup>。